

# 農林水産事業の概要

## ごあいさつ

日本政策金融公庫(「日本公庫」)農林水産事業に対する皆さまの日頃のご支援とご協力に心からお礼申し上げます。

日本公庫農林水産事業は、農林漁業や食品産業に携わる皆さまの経営発展のため、長期・低利の融資に加え、多様な経営支援サービスの提供や民間金融機関のサポートに取り組んでおります。

具体的には、貸付当初5年間の金利負担軽減措置が講じられたスーパーL資金や平成22年10月から日本公庫農林水産事業が貸し付けることとなった無利子の農業改良資金などにより、農業の6次産業化をはじめとするお客さまの生産・加工・販売分野での取組みを幅広く支援してまいります。

また、資金面はもとより、お客さまのさまざまな経営課題にお応えするため、「農業・林業・水産業経営アドバイザー」や関係機関と連携した経営支援活動、国産農産物の販路拡大を支援する「アグリフードEXPO」を通じたビジネスマッチングなど、統合によるシナジー効果を発揮しつつ、地域やお客さまの実情に応じたきめ細やかな経営支援サービスに努めてまいります。

さらに、民間金融機関による農業分野の融資への参入を支援するため、各種ノウハウの提供や証券化支援業務などの取組みを進めてまいります。

昨今の農林水産業を取り巻く経営環境は、口蹄疫などの疾病や自然災害、長引く景気低迷による販売価格の下落など、総じて厳しい状況が続いており、お客さまへのセーフティネット機能の発揮が強く求められております。

このような情勢において、政策金融機関として農林漁業や食品産業に携わる皆さまの「経営」を「現場」で支えてきた我々の役割は、ますます重みを増していると感じております。

日本公庫農林水産事業は、長年培ってきた「現場感覚」に立脚した専門性・独自性を発揮し、これまで以上に、お客さまや関係機関の皆さまとの関係を密にし、お役に立てるよう努めてまいります。

今後とも皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



株式会社日本政策金融公庫  
農林水産事業本部長 坂野 雅敏

# 主な業務の内容

## 長期・低利の融資

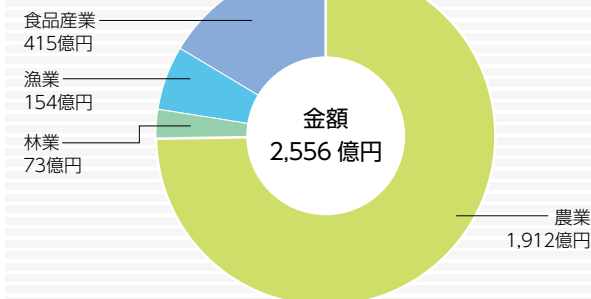
農業、林業、漁業、食品産業における設備投資や経営改善などに必要な事業資金を中心に、「投資の回収に長期間要する」、「天候の影響で収益が不安定」といった業種の特性を考慮した長期・低利の資金です。

### 平成21年度融資実績

農林水産事業は、平成21年度に、農林漁業や食品産業を営む皆さまに対し、11,119件(対前年度比97%)、2,556億円(同109%)を融資しました。資金種類別では、農業関係資金1,912億円、林業関係資金73億円、漁業関係資金154億円、食品産業関係資金415億円となりました。

#### 融資実績

(平成21年度)



(注) 農業、林業、漁業および食品産業は、資金の種類により区分しています。

## 多様な経営支援サービスの提供

農林漁業や食品産業を営む皆さまの経営をサポートするために、豊富な情報とノウハウを活用した多様なサービスを提供しています。

### お客さまコールセンター、定期相談窓口の設置

農林水産事業の人員を配置する全国48支店や、お客さまコールセンターのほか、お客さまのより身近なところとして、全国約110カ所に設置した定期相談窓口で、ご相談をお受けしています。

### 農・林・水産業経営アドバイザー、外部ネットワークとの連携による経営支援

農業、林業、水産業の経営に関する専門家である「農業経営アドバイザー」、「林業経営アドバイザー」、「水産業経営アドバイザー」を中心に、業務協力機関とも連携して、経営全般に関するさまざまにご相談にお応えしています。

### ビジネスマッチング支援

農林水産物の生産から加工・販売までを広くサポートしている特性を生かして、国産農産物の展示商談会「アグリフードEXPO」やインターネットによるビジネスマッチングサイト「アグリフードEXPO インターネットマッチング」により、農林水産業者と食品加工・流通業者の皆さまの販路や取引の拡大に向けた取組みを支援しています。

### 情報提供

情報誌「AFCフォーラム」や「アグリ・フードサポート」、「農業景況調査」や「食品産業動向調査」といった各種レポート、プレスリリースやホームページ、メール配信サービスを通じて、お客さまや関係機関の皆さまに役に立つ情報を提供しています。

## 民間金融機関とのパートナーシップの強化

業界動向や農業信用リスク評価などに関する情報提供および証券化支援業務を通じて、民間金融機関が積極的に農林漁業分野の融資に参入できるよう環境を整備しています。